



エコアクション21

環境経営レポート

2023年4月～2024年3月

釧路スバル自動車株式会社

発行日 2024年06月01日

## 【目次】

	ページ
【1】 会社概要	1
【2】 環境経営方針	3
【3】 環境経営目標	4
【4】 環境活動の取組結果と評価及び次年度の目標・取組内容	6
【5】 主要な環境活動の取組内容	10
【6】 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11
【7】 代表者による全体評価と見直しの結果	12

# 【1】会社概要

## 1) 事業所名及び代表者

釧路スバル自動車株式会社

代表取締役社長 上原 彰人

## 2) 所在地

本社

〒084-0904

北海道釧路市新富士町4丁目4番1号

カースポット(中古車センター)

〒084-0904

北海道釧路市新富士町4丁目4番12号

アネックス(車検整備工場)

〒084-0904

北海道釧路市新富士町5丁目1番3号



## 3) 事業内容

- 自動車(新車・中古車)の卸小売
- 前項に関する部品・用品の販売及び修理
- 自動車の整備・修理
- 損害保険代理業及び自動車賠償保障法に基づく保険代理業

## 4) 事業規模 (2023年度)

従業員数	38人
年間売上高	1,424百万円
新車販売台数	313台
中古車販売台数	87台
床面積	2,453㎡

## 5) 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者

代表取締役社長 上原 彰人

EA21事務局

管理部 部長 國分 俊秀

サービス部 部長 佐藤 美起

営業部 部長 林 大輔

連絡先 TEL 0154-51-0555

FAX 0154-51-3374

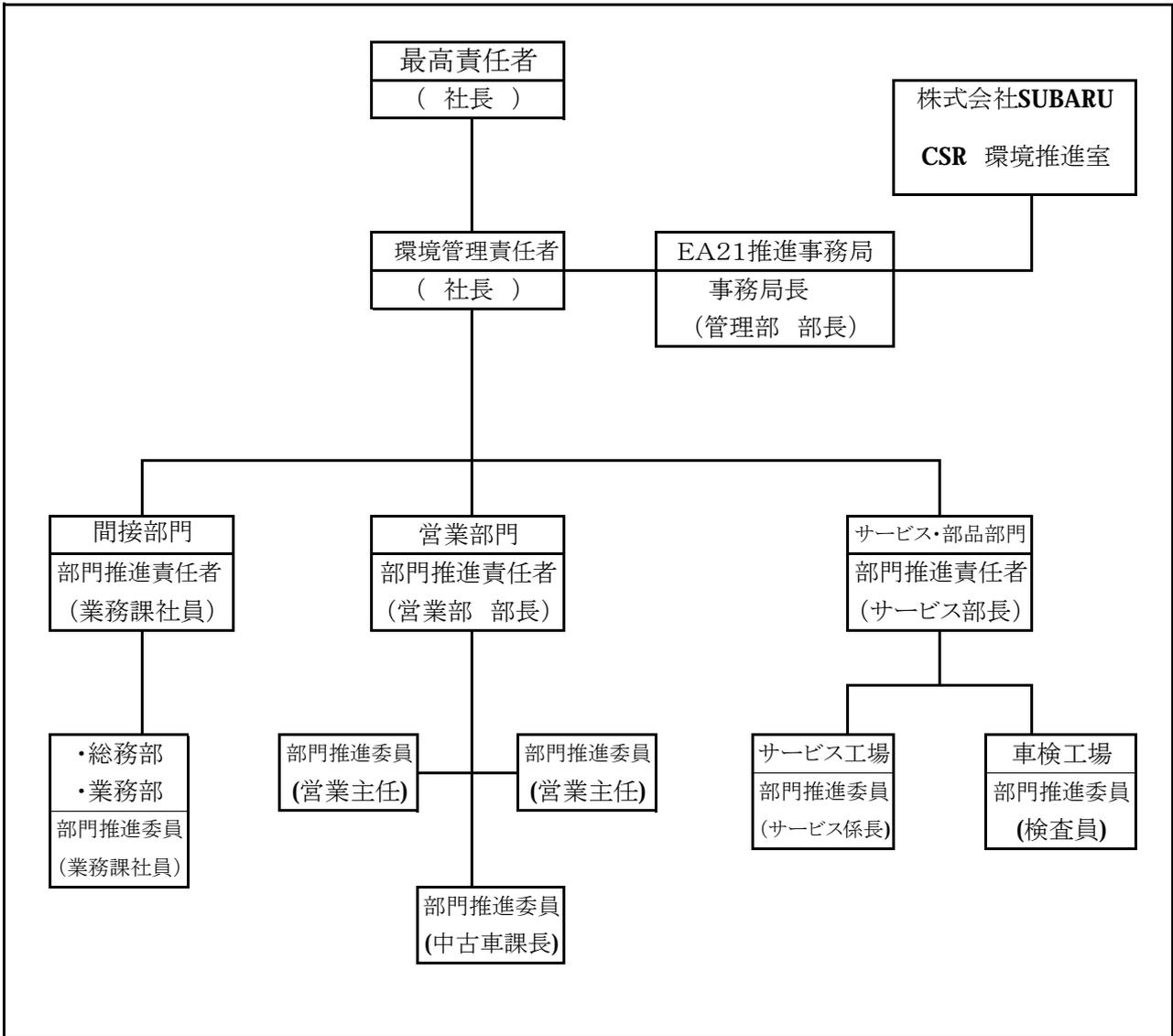
## 6) EA21認証登録範囲

釧路スバル自動車株式会社

自動車販売及び中古車の卸小売、自動車の修理・整備、部品・用品の販売及び修理

損害保険代理業及び自動車賠償保障法に基づく保険代理業

7) EA21推進組織図



## 【2】環境経営方針



### 環境経営方針

#### ■ 基本理念

私たちの住むまちは、阿寒国立公園、釧路湿原などの自然豊かな環境にあります。このすばらしい自然環境を次世代に残すことが、私たちの果たす役割であると考えます。このような環境の中、弊社は自動車及び部品の販売・整備・修理・保険業務に携わる事業者として、環境に及ぼす影響を常に考え豊かな未来の実現と、環境との調和のとれた企業を目指します。

#### ■ 行動規範

- 1) 少子高齢化・労働力不足など刻々と変化する社会情勢の中、弊社はこれをいち早く感じ取り、将来に向けた新たな取り組み、先取りした仕事改革などスピード感溢れる企業をめざし行動します。
- 2) 安心・安全を基本とし、車本来の愉しさを通して社会に元気と笑顔を与える企業をめざし行動します。

#### ■ 基本方針

この理念のもと、当社が行う自動車及び部品の販売・整備・修理・保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、二酸化炭素排出量削減を念頭に省資源、省エネルギー、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を厳守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境経営目標を設定し取り組み、必要があれば見直しを行います。
  - ① 省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
  - ② 省資源（水使用量、紙使用量）
  - ③ 廃棄物の排出抑制と、適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量の削減）
  - ④ 会社周辺の美化を積極的に行い、地域の環境保全に貢献します。
  - ⑤ エコマーク商品など、環境に配慮した商品の購入をすすめる。
  - ⑥ 環境対応事業の拡販（環境対応車の販売促進、車検整備、法定点検の入庫促進）
5. この環境経営方針を全従業員に周知し教育活動を推進します。

2023年7月1日(改定)

釧路スバル自動車株式会社

代表取締役社長 上原 彰人

### 【3】環境経営目標

当社は二酸化炭素排出抑制を目標と掲げ、環境負荷が大きいと考えられる(エネルギー使用量)(廃棄物排出量)について調査し、この削減活動に重点を置くと共に、リサイクル活動など様々な環境保全活動を積極的に行います。

(注)化学物質の管理について、当社では板金塗装作業は行っておらず全て外注としており、特段該当する薬剤等は使用していないので環境経営目標から外しております。

#### 1) 環境負荷状況

環境への負荷の自己チェックの結果、2022年度(2022年4月～2023年3月)当社の環境負荷は下記のとおりとなっています。

項目		単位	実績 2019年度	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度
二酸化炭素排出量 ※		Kg-CO2	235,095※2	219,403※2	199,652※2	197,795※2
電気使用量		Kwh	80,083	81,599	79,268	77,546
燃料	ガソリン	L	46,629	41,155	37,157	36,454
	軽油	L	5,996	4,253	3,848	3,476
	灯油	L	15,930	16,993	15,065	15,843
	LPG	Kg	238.0	225.0	208.0	195.0
水道		m <sup>3</sup>	619	559	561	564
廃棄物	産業廃棄物	t	19,854	15,489	15,325	15,882
	一般廃棄物	t	2,790	2,250	2,180	1,910
紙(コピー用紙)		枚	235,000	193,000	202,000	191,000

※ 電力の二酸化炭素排出量を算出する、排出係数は以下の係数を使用。

※1【平成25年度電気事業者別二酸化炭素排出係数: 0.678(Kg-CO2/kWh)】北海道電力

※2【平成30年度電気事業者別二酸化炭素排出係数: 0.643(Kg-CO3/kWh)】北海道電力

2) 環境負荷状況と環境経営目標

基準年度(2020年度)を基に下記のように中期環境経営目標を設定しました。

項目		単位	環境経営目標 2021年度	環境経営目標 2022年度	中期環境経営目標 2023年度
二酸化炭素排出量		Kg-CO2	219,184 (基準年度)0.1%削減	218,964 (基準年度)0.2%削減	218,475 (基準年度)0.3%削減
電気使用量		Kwh	81,517 (基準年度)0.1%削減	81,436 (基準年度)0.2%削減	81,354 (基準年度)0.3%削減
燃料	ガソリン	L	40,743 (基準年度)1.1%削減	40,332 (基準年度)2.0%削減	39,920 (基準年度)3.0%削減
	軽油	L	4,210 (基準年度)1.0%削減	4,168 (基準年度)2.0%削減	4,125 (基準年度)3.0%削減
	灯油	L	16,976 (基準年度)0.1%削減	16,959 (基準年度)0.2%削減	16,942 (基準年度)0.3%削減
	LPG	Kg	224.78 (基準年度)0.1%削減	224.55 (基準年度)0.2%削減	224.33 (基準年度)0.3%削減
水道		m <sup>3</sup>	553 (基準年度)1.0%削減	548 (基準年度)2.0%削減	542 (基準年度)3.0%削減
廃棄物	産業廃棄物	t	15.474 (基準年度)0.1%削減	15.458 (基準年度)0.2%削減	15.443 (基準年度)0.3%削減
	一般廃棄物	t	2.248 (基準年度)0.1%削減	2.246 (基準年度)0.2%削減	2.243 (基準年度)0.3%削減
紙(コピー用紙)		枚	191,000 (基準年度)1.0%削減	189,000 (基準年度)2.0%削減	187,000 (基準年度)3.0%削減
社会貢献環境保全活動の推進			清掃活動の参画 会社・町内会周辺の 定期清掃活動 毎日曜日	清掃活動の参画 会社・町内会周辺の 定期清掃活動 毎日曜日	清掃活動の参画 会社・町内会周辺の 定期清掃活動 毎日曜日
グリーン購入法適応及び エコマーク商品採用			事務用品、OA機器、会社 設備等の入替、新規導 入、その他物品購入時 は、グリーン購入法適応用 品やエコマーク商品の採 用を促進する。	事務用品、OA機器、会社 設備等の入替、新規導 入、その他物品購入時 は、グリーン購入法適応用 品やエコマーク商品の採 用を促進する。	事務用品、OA機器、会社 設備等の入替、新規導入、 その他物品購入時は、グ リーン購入法適応用品や エコマーク商品の採用を促 進する。
環境対応事業の拡販			○環境対応車の販売促進(目標値)		
			492台	492台	360台
			○車検・定検・セーフティ点検の入庫促進(目標値)		
			車検 1082台	車検 1,093台	車検 1,200台
			点検 1102台	点検 1,113台	点検 1,065台
			セーフティ 1139台	セーフティ 1,150台	セーフティ 1,051台
合計 3,323台	合計 3,356台	合計 3,316台			

## 【4】環境活動の取組結果と評価及び次年度の目標・取組内容

### 1) 2023年度(2023年4月～2024年3月)環境活動の取組結果

項目	単位	基準年度 (2020年度)	削減 目標	年間目標	年間実績	対基準年度 削減率判定		
二酸化炭素 排出量※	Kg-CO2	219,403 ※2	0.3%	218,475	184,472 ※2	-15.9%	○	
電気使用量	KWh	81,559	0.3%	81,354	74,464	-8.7%	○	
燃料	ガソリン	L	41,155	3.0%	39,920	34,688	-15.7%	○
	軽油	L	4,253	3.0%	4,125	3,042	-28.5%	○
	灯油	L	16,993	0.3%	16,942	13,345	-21.5%	○
	LPG	Kg	225.00	0.3%	224.33	192.00	-14.7%	○
水道	m3	559	3.0%	542	566	1.3%	△	
産業廃棄物	t	15.489	0.3%	15.443	14.778	-4.6%	○	
一般廃棄物	t	2.250	0.3%	2.243	1.550	-31.1%	○	
紙(コピー用紙)	枚	193,000	3.0%	187,000	173,500	-10.1%	○	
社会貢献環境保全 活動の推進	会社、町内会周辺の 定期清掃活動実施			←	←	○		
グリーン購入法適応 及び エコマーク商品採用	物品購入時は、エコ マーク商品を使用する よう指導推進			←	←	○		
環境対応事業の 拡販	○車両の販売促進			目標台数:360台 実績台数:313台		86.9%	○	
	○車検・定検・セーフティ点検の入 庫促進			目標台数:3,316台 実績台数:2,950台		89.0%		

判定呼号 ◎:期待値より大幅に達成 ○:期待レベルの達成 △外的要因で未達成

×:未達成

※ 電力の二酸化炭素排出量を算出する排出係数は、以下の係数を使用。

※1【平成25年度電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.678(Kg-CO2/kWh)北海道電力

※2【平成30年度電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.643(Kg-CO3/kWh)北海道電力

### 2) 成果分析と次年度への取組内容

※数値分析の基本となる原単位の分母は、年間の車販台数(含中古車)+総整備在庫台数になります。(今年度は、400台(車販)+6,796台(整備在庫)=7,196台)

#### ① 電気使用量削減

- 基準年度比0.3%の削減目標に対し8.7%削減する結果となった。だが原単位では逆に増加している。前年に比べ車両販売・整備在庫台数ともに今一つ伸びなかったことが原因で、目標達成のための取り組みはしっかりできていたと思う。次年度も継続して取り組む。

【原単位】(基準年)9.213 < (2023年)10.348

#### ② 燃料使用量削減

- ガソリン・軽油の使用量は、基準年度比3%の削減目標に対し、ガソリンは15.7%軽油は28.5%削減する結果となった。原単位はガソリンが若干増えているものの効率的な巡回活動や納車引取、またそれらを減らすためのお客様の来店促進等、しっかり実践されていると思う。次年度も継続して取り組む。

【原単位】ガソリン(基準年)4.647 < (2023年)4.820

軽油(基準年)0.480 > (2023年)0.422

- 灯油・LPG使用量は、基準年度比0.3%削減の目標に対し灯油は21.2%削減、LPGは14.7%の削減結果となった。灯油は原単位でも削減されており、使用量は冬期間の気温に影響されるため多少の増減はあると思うが、温度管理等の取り組みはしっかり実践されていたと思う。2023年には、アネックス内の検査ラインと作業ラインに仕切カーテンを設置したことで、外気による室内の温度変化が軽減され灯油の消費量削減に寄与した。次年度も継続して取り組む。

【原単位】灯油(基準年)1.919 > (2023年)1.855

LPG(基準年)0.025 < (2023年)0.027

- ③ 水使用量削減
- 基準年度比3%の削減目標に対し1.3%増と若干増える結果となった。原単位も増えており原因としては昨年度に引き続き、おすすめ商品としてボディーコート・鉄粉取りを実施しており、施工台数の増加で洗車工程が増えたことが水使用量の増にも影響した。取り組み自体はしっかり実践されているので次年度も継続して取り組む。  
【原単位】(基準年)0.0631 < (2023年)0.0787
- ④ 廃棄物排出抑制
- 基準年度比0.3%削減の目標に対し、一般廃棄物は31.1%削減、産業廃棄物については4.2%削減する結果となった。廃棄物についてはリサイクル化を念頭に分別が一番大切なことであり、次年度も継続して取り組む。  
【原単位】一般廃棄物(基準年)0.254 > (2023年)0.215  
産業廃棄物(基準年)1.749 < (2023年)2.054
- ⑤ 紙(コピー紙)使用量削減
- 基準年度比3%の削減目標に対し、10.1%削減する結果となった。前年に比べ車両販売・整備入庫台数ともに減っており使用量は削減されているが、原単位は増加する結果となった。昨年度に電算システムが変わり帳票類の出力が増えたことが原因と思われる。不要な帳票出力の停止や裏紙の活用、また社内伝達は掲示板やメールの活用と使用量削減に向けた取り組みはなされているが、更なる削減のため次年度も継続して取り組む。  
【原単位】(基準年)21.79 < (2023年)24.11
- ⑥ グリーン購入法適応およびエコマーク商品採用
- 事務用品・OA機器・会社設備等の入替え・新規導入、その他物品購入時にはエコマーク商品を採用するよう指導推進、次年度も継続して取り組む。
- ⑦ 環境対応事業の拡販
- 車検・定期点検・セイフティの入庫は、目標に対する入庫率は89.0%だった。(前年度目標比94.0%) 基盤商品の入庫台数について2020年度までは毎年わずかながら増加傾向にあったが、以降は減少傾向にある。原因はいろいろ考えられるが、原単位を使う上で分母となるとも重要な部分である。特に一般整備の入庫台数は漸減傾向にあり、これを補う意味でも取りこぼしの無いよう更なる入庫促進に努めなければならない。次年度はこの点を考慮して取り組む。
- 入庫予約は、車検が前月の14日までに翌月該当全数の入庫可否と見極め予約獲得をする。定期点検・セイフティは前月21日までに翌月該当全数の入庫可否を見極め予約獲得をする。
- 2020年度以降の新型コロナウイルス問題に端を発し、様々な問題に翻弄され車両販売は今一つ伸び悩んでいる。2023年度については、前年に比べ若干落としているが、半導体不足による供給部品の遅れ解消など明るい材料情報もあるので、大いに活用し販売促進に努める。
- ⑧ その他
- 環境関連法規の遵守  
産廃処分業者への確認事項・産業廃棄物管理表の提出、その他報告等漏れなく実施。他、環境法規・社内規定に違反は無かった。  
また、環境関連法規に関する社内の勉強会については、2019年度以降行っていないので、時期を見て復習を兼ねた勉強会を次年度予定する。
  - 環境教育の推進  
環境教育については新人のみの実施となった。復習を兼ねた定期的な勉強会は大切なことであり、次年度全社員を対象としてスケジュール実施する。

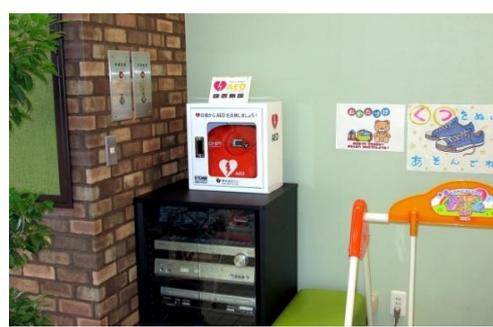
- 防火訓練の実施

全社員介しての防火訓練については、2023年8月実施。釧路西消防署へ報告済。  
釧路防災センターでの体験型防災訓練について、新人を含め未体験の社員を対象として実施する。次年度も計画的に実施する。

- 社会貢献環境保全活動の推進

毎月第一週を除く日曜日の朝に、雨天もしくは何か行事がない限り会社周辺、町内会の清掃活動を実施してきた。次年度も継続して実施する。

★ 清掃活動の様子



⑨ 次年度(2024年度)以降の中期環境経営目標

基準年度(2023年度)を基に2024年度以降の中期環境経営目標を設定しました。

項目		単位	環境経営目標 2024年度	環境経営目標 2025年度	中期環境経営目標 2026年度
二酸化炭素排出量		Kg-CO <sub>2</sub>	184,288 (基準年度)0.1%削減	184,103 (基準年度)0.2%削減	183,919 (基準年度)0.3%削減
電気使用量		Kwh	74,390 (基準年度)0.1%削減	74,315 (基準年度)0.2%削減	74,241 (基準年度)0.3%削減
燃料	ガソリン	L	34,341 (基準年度)1.0%削減	33,994 (基準年度)2.0%削減	33,647 (基準年度)3.0%削減
	軽油	L	3,012 (基準年度)1.0%削減	2,981 (基準年度)2.0%削減	2,951 (基準年度)3.0%削減
	灯油	L	13,332 (基準年度)0.1%削減	13,318 (基準年度)0.2%削減	13,305 (基準年度)0.3%削減
	LPG	Kg	19,190 (基準年度)0.1%削減	19,172 (基準年度)0.2%削減	19,152 (基準年度)0.3%削減
水道		m <sup>3</sup>	565 (基準年度)0.1%削減	565 (基準年度)0.2%削減	564 (基準年度)0.3%削減
廃棄物	産業廃棄物	t	14,630 (基準年度)0.1%削減	14,482 (基準年度)0.2%削減	14,335 (基準年度)0.3%削減
	一般廃棄物	t	1,535 (基準年度)0.1%削減	1,519 (基準年度)0.2%削減	1,504 (基準年度)0.3%削減
紙(コピー用紙)		枚	172,000 (基準年度)1.0%削減	170,000 (基準年度)2.0%削減	68,500 (基準年度)3.0%削減
社会貢献環境保全活動の推進		<p>清掃活動の参画</p> <p>会社・町内会周辺の清掃活動の実施</p> <p>日曜日(第一日曜日除く)</p>			
グリーン購入法適応及びエコマーク商品採用		<p>事務用品、OA機器、会社設備等の入替、新規導入、その他物品購入時は、グリーン購入法適応用品やエコマーク商品の採用を促進する。</p>			
環境対応事業の拡販		<p>○環境対応車の販売促進 環境性能の良い新車および中古車の販売。</p> <p>多年経過車の代替促進(環境性能の良い車への) ※台数目標は各年度の事業計画とする。</p> <p>○車検・定検・セーフティ点検の入庫促進 点検整備の入庫促進を積極的に行う。 点検整備時にはオイル・フィルター等の省エネに寄与する提案を積極的に行う。 ※台数目標は各年度の事業計画とする。</p>			

## 【5】主要な環境活動計画の取組内容

### 1) 目標達成のための取組内容

#### ① 電気使用量削減

- (1) 室内照明の消灯管理
- (2) 広告灯、外灯の消灯管理
- (3) OA機器等の節電管理
- (4) 空調機器の管理
- (5) 日中の稼働率を上げ残業時間の削減

#### ② 燃料使用量削減

- (1) 自動車の運転は、環境確保条例に定める「アイドリングストップ」を順守すること。
- (2) 営業活動における顧客訪問時には、効率的な巡回コースを設定して取り組むこと。
- (3) エコドライブ4ヶ条を守ること。
- (4) 室内の温度管理。
- (5) 車両整備のお客様に対する来店への取組み。

#### ③ 水使用量削減

- (1) 水の使用は、必要な量を必要な時間だけ流し、流量・時間に十分注意して使うこと。
- (2) 漏れが止まらない場合や、水道管が破裂した場合は、速やかに管理担当者に連絡し修復すること。

#### ④ 廃棄物量削減

- (1) 社内から出る紙類・コピー紙などは100%資源ごみとし、リサイクルする。
- (2) オフィスから排出するごみの管理は、分別基準に従い、適正に保管する。
- (3) 産業廃棄物管理の詳細は、別途「廃棄物管理手順書」に定める。

#### ⑤ 紙使用量削減

- (1) 通知資料等は回覧や掲示板を活用し、コピー量を減らすこと。
- (2) 社内LANや電子メールの活用によりペーパーレス化を図ること。
- (3) コピーは原則的に両面とする。
- (4) 随時リサイクル紙を採用する。
- (5) ミスコピーを減らす。

#### ⑥ グリーン購入法適応およびエコマーク商品採用

- (1) PC・プリンター等OA機器を入替・増設する際は進んでグリーン購入法適応品を採用する。
- (2) 事務用品などの購入の際は、エコマーク商品など環境に配慮した商品を採用する。

#### ⑦ 環境対応事業の拡販

- (1) 車両の販売促進。
- (2) 車検整備・法定点検・セーフティ点検入庫促進。

## 2) その他取組

- ① 環境関連法の遵守
  - 法規制、社内基準の遵守。関係者への教育の実施。
- ② 社会貢献環境保全活動の推進
  - 地域密着型実現のため社会への環境活動を進める。  
(会社周辺の定期的な清掃活動)
- ③ 環境教育の実施
  - 社員の環境への関心を高めるため、年間教育計画に基づき教育を実施する。

## 【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 1) 適用される主な環境法規等

主な適用法規	要求事項
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 保管基準,委託基準の遵守</li><li>● 許可業者への処理委託</li><li>● 適正な委託契約の実施</li><li>● マニフェストの適正運用管理</li><li>● マニフェストの交付状況の年度報告</li></ul>
消防法 (釧路市火災予防条例)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 貯蔵数量の遵守</li><li>● 定期の消防設備点検・報告</li><li>● 火災発生時の緊急連絡</li></ul>
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 登録業者</li><li>● 使用済自動車の適正処理</li></ul>
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自動車リサイクル法に基づく適正処理</li><li>● フロン類の放出禁止</li></ul>
北海道及び釧路市の条例	<ul style="list-style-type: none"><li>● 年に一度、産業廃棄物処理業者の現地確認と記録</li><li>● 産業廃棄物管理票の報告</li></ul>

### 2) 違反、訴訟等の有無

当社に於ける環境関連法規等への違反はありません。  
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 【7】代表者による全体評価と見直しの結果

- 1) 環境活動計画の実施状況及び環境経営目標の達成状況  
2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が「第5類」の扱いとなったが、前年に引き続き車両販売・整備入庫台数ともに伸び悩む結果となりました。特に下期はダイハツの不正問題に伴い1月～3月の生産・出荷・登録の停止や、スバルの群馬工場での事故による生産・出荷の遅延で期末の登録ができない状況に陥る等で、車両販売や入庫台数に影響をおよぼした。その結果、殆どの環境項目は削減され、数値だけ見ると二酸化炭素排出量削減(基準年2020年度比0.3%削減)は達成されたが、原単位で見ると削減に至らなかった側面もあり、2024年度は更なる検討が必要となる。
- 2) 苦情を含む社外の利害関係者からの受付結果  
社外・会社周辺からの苦情は無かった。  
今後も、苦情の出ることが無いよう配慮されたい。
- 3) 環境法規制、その他要求事項の遵守状況  
産廃処分業の各許可証の期限更新については確認済み。また北海道への産廃管理票の提出、その他の報告等は2023年6月に漏れなく実施済み。全社員参加の防災訓練については2023年8月に実施済み。また防災センターでの体験型防災訓練についても実施済み。2024年度も新入社員等の未経験者について実施する。法令遵守は最も重要なことであり、今後も注意して取り組むこと。
- 4) 当社に関する環境法規制、条例等について  
法規・法令の変更等については特に無い。確認済み。
- 5) 是正処置、予防処置の結果又は取り組み状況  
・本社工場洗車スペース付近の排水溝の蓋交換済み。2023年9月  
・5年に一度の消防署による社内防火設備の立入検査の指摘事項については是正した。  
(消火灯の球切れ箇所交換・廃油タンクの油脂不明瞭箇所の改善)
- 6) 社会貢献環境保全活動について  
第一週を除く日曜日、雨天もしくは行事が無い限り、会社周辺、町内会の清掃活動実施。
- 7) 環境経営方針の見直しの必要性について  
特に無し

### ■ 総括

年度を通じて、各項目にて新たな改善を試みるなど取り組みが進んだ一年であると評価できる。結果については、暖冬による影響やメーカーによる業務フローの見直しに伴う影響など、環境要因によるものもあるが、それらを差し引いても着実に効果として表れていると考えられる。今後に向けては、店舗営業に伴い定期的に消費する資源の効率化を図るべく、車両販売数や入庫数の増加により、原単位の効率化を実現していくことが肝要である。